

新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大も一定落ち着き、少しずつですが収束への希望の光が見えてきています。しかし、新たな変異株の不安など、まだ完全に以前の生活に戻る状況がなく、市としましても、引き続き感染拡大防止対策と地域経済活動支援

持続可能な社会の実現へ

このような状況の中ですが、未来への投資、加西市発展への歩みも確実に進めています。まず、春には、鶉野飛行場跡地に、平和学習と観光・地域活性化の拠点として「soraかさい」が、また、アステリアかさいに、ポストコロナ時代

また、脱炭素化に向けた設備導入を支援し、ゼロカーボンの取組を事業者と進めます。さて、本年、加西市は市制55周年を迎えます。大きな節目であった50周年からのこの5年間は、本市にとっても、様々な可能性が具現化し、大きく飛躍した期間となりました。一方で、現在も続く新型コロナウイルスという国難にも遭遇した時でもありました。そこから学んだことは、人がつながり、市や地域が広くつながる「寛容であたたかいまち」の大切さです。高齢者、外国人、障がいのある方など、多様なすべての市民が、自分らしく、心豊かに暮らすことのできる、持続可能な社会の実現に邁進してまいります。最後に、この1年の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

加西市長

西村 和平



明けましておめでとうございます。日頃より教育行政にご支援を賜わり、心より感謝申し上げます。

新しい変異ウイルスが発見されたりして、今年もコロナと闘いながら、子どもたちを守り、育成しなければなりません。細心の注意を払って「ウイズコロナ」を実現したいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

次世代型人材育成を推進

さて、現在こども園や学校に通う加西っ子は10年後、20年後に、AIや最新テクノロジーの進歩によって激変した社会に出ていかなければなりません。その時、社会はこの子たちに何を求めるで

にして五感を磨き、一人一台のタブレットを最大活用して、誰ひとり取り残すことのない教育を実現することです。一人ひとりが自分の未来を夢見、協働してそれを実現しようとする加西っ子の育成を目指します。また、本年は「加西市未来の学校構想検討委員会」において、小学校・中学校のあり方について協議してまいります。教師はもちろん、PTAや地域の方々のご意見を大切にしたいと思っておりますので、忌憚のないご意見をお寄せください。子どもたちの成長には休みはありません。加西市の教育理念「郷土を愛し豊かに未来を拓く人づくり」を目指して、努力を続けたいと思っております。皆さまにとっても、良き1年でありますよう祈り申し上げます。

加西市教育長

民輪 恵



新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。平素は、市議会の運営並びに活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス

ウイルスの感染の波が繰り返して来し、緊急事態宣言がたびたび発

デジタル化による議会改革

令されるなど、日常生活や経済活動に大きな影響をもたらしました。第5波以降、感染者数は落ち着いておりますが、新たな変異株が確認されるなど、まだまだ予断を許さない状況であります。一昨年から続く新型コロナウイルスとの闘い

に日夜奮闘していただいている医療従事者をはじめ、多くの方々の献身的なご尽力に敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。また、市民の皆さまにも感染拡大防止にご理解とご協力をいただきありがとうございます。コロナ禍において、人との接触が制限される中、テレワークや行政手続のオンライン化など社会全体のデジタル化に向けた取組がますます重要になっております。本市議会におきましても、タブレット端末を導入し、議案等のペーパーレス化を図るとともに、災害や感染症の発生により、議員が議会に参集できない場合において

加西市議会議長

原田 久夫

